

刊夕日七十二月二

常警日新聞

定価 一月五圓 郵費五圓
 廣告料五圓 十二字第一行金五圓
 日曜 祭日の日 休刊
 発行所 常警日新聞社
 電話 六二〇〇
 印刷所 常警日新聞印刷株式会社

常警炭田の開発と

片寄平藏 [其]
 山口彌一郎

4. 横濱積出
 採掘した石炭は馬背に依つて約十五軒の小名濱港に運んだ。一匹に對して二俵、強い馬で三俵位。當初の運賃は明瞭でないが明治初年は一駄七錢乃至八錢、高く十二錢位のものであつた。小名濱では和船に積んだが江戸より注文を受けて來て積んだこともあり、和船の買ひ入れに來たものには直積買り渡したこともあると言ふ。

○頭を買求め、之を近村農家に貸與し置き之をして日々駄送せしめた。此等の駄送には悉く公儀御用の標旗を用ひたので他は皆な道を讓つて通つたと言はれてゐる。然も尚ほ御用急遽の報に接すると湯長谷藩主内藤侯に請うて更に駄馬を徵發して運送せしめた。

5. 外國貿易
 横濱開港に依り平藏は外國貿易に着眼し安政六年外國奉行所に對して石炭の外國貿易を願ひ出た。其願書は次の如くである。

安政五年幕府が通商假條約に調印するに及び平藏は明石屋と共に横濱に行き、土地の分與を受けて小名濱より直接横濱港に積出すこととした。

安政五年十月石炭買上の命が突如として幕府より平藏に下つた。平藏はたゞちに撰炭三千俵を上納し、次いで石炭御用達となつた。平藏にも愈々幸運が向いて來たのである。

小名濱積出しの困難なるに依り、平藏は地方駄馬の少きを慮り、自ら牛馬各一

一、牧野越中守領分奥州岩城郡大森村百姓平藏奉願上候私儀石炭製油仕候處同國岩前郡内藤藩磨守様御領分白水村石炭夥敷御坐候ニ付ハ右御領主様ヨリ私江御任ニ相成當時石炭製油仕罷在候然ル處追々異國御交易破 仰出神奈川邊江御開港相成候趣粗奉承知候間右石炭御交易之御用ニ茂相成候ハ、私江被 仰付被下置度奉願上候併ニ磐城國産延紙椎茸是又御交易相成候ハ、御用被仰付被下置候

安政六己未年正月 外國御奉行所 (著者註：牧野氏は常州空間城主牧野越中守貞長で當時大浦村一帯をも領してゐた)

此の願は許可になり横濱港に於て明石屋と共に大規模に外國貿易を始めた。彼の晩年の「諸用留」の中には銀座御役所等此等外國取引の金の引替覺書が多數記されてゐる。數項を抜書すれば次の如くである。

願出之事
 覺
 一、洋銀五千枚
 右之通御引替可被下候様奉願候以上
 牧野越中守内 鈴木又左衛門
 申正月十七日
 銀座御役所様
 洋銀貳千枚
 右之通御引替可被下候様奉願候以上
 松島町 伊兵衛
 申二月九日
 銀座御役所様
 右御上納五月十六日貳千枚御上納仕候様被仰度候

日本に唯一つ
 魂の這入つた

東京工場

聯盟の自轉車

指定販賣所 フタバ商會
 平新川町・橋際

外科 X光線科

性病科
 外科

平町田町
安齊外科醫院
 電話四七五番

入院隨院 意

木炭の!

御用命はお客様本位に勉強する
 「電話二四四番」へ
 多少に拘らず早速御届け致します

平一丁目
市原商店

産人科 院長 木村寅次郎
 婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 立番彌一

平町新川町十九
木村病院
 入院隨意 病室完備
 電話一六四番

日本一の三鱗豆炭

最も新しい燃料……三鱗豆炭の御試用を願ひます

火附のよい事木炭同様
 (専用の器具不用)

燃料費は各種燃料の三分の一
 ……炊事場・料理店に最適

三鱗豆炭海岸線一手販賣元
 大谷石販賣店 **住吉屋セメント店**
 酒井 伴 城
 平驛前 (電話六六一番)

新築感謝 萬年筆大賣出

記念金文字御名人無料
 お氣に召す迄金ペン交換

五ヶ年絶對責任付
 定價二圓以上
 品種豊富

平紺屋町角公園前
佐々木商店
 電話二三三番

急告

元弊店員郡信次 儀著しく停滯せる債權の督促のみを命じ置り候へしも昨年五月二十三日解雇仕候處仄聞する處に依れば取引先各位に對し無權限の文書を發し御迷惑を懸け居るやに聞及候就ては右様の事實有之候は、御手数數年左記へ來る三月五日迄に御申出下され度御願ひ申上候

二月二十三日
 茨城縣下館町
關彰商店本店
 平浦關本支店

豫算案を

委員会に移す

昨日大童の町當局

来年度豫算を附議する平町會は昨報の如く昨日午後二時より會議室に開會青沼町長の長時間に亘る豫算説明あつて

馬目雅治 吉田寅之輔
馬目武之助 根本品藏
川崎文治 多田井笑次郎
小松茂 鈴木光吉
諸氏より學校、土木、警備其他に關し夫々質問應答あり佐々木龍若氏の動議に依つて委員附託と決定、野崎議長代理より左記の如く豫算及び決算各委員を指名し午後五時半散會した尙議案調査の爲め三日間休會し來月二日より委員會に移り逐

條協議し本會議は五日開會の模様である

(豫算委員) 萩原義雄 花澤久一郎 佐々木龍若 堀喜一 川崎文治 關内正一 根本品藏 多田井笑次郎 馬目雅治 吉村安次郎 佐藤幸太郎 坂本隆藏 酒井清 吉田寅之助 鈴木光吉(決算委員) 小野伊佐治 松崎長三郎 會川延太郎 新井滋藏 石山治三郎 高橋龜松 馬目武之助 猪狩觀德 吉田金作 荒川淺次郎 小松茂 吉田五平 綠川喜三郎

愛林運動

社寺境内に植樹

石城林野保護組合では來る四月二日より四日迄の愛林運動に際し警察署警林署各學校等と連絡しポスター、パンフレットの配付、標語及綴方懸賞募集其他講演等の外特に一般の愛林思想を計る爲め各町村へ甘本宛無料で公孫樹種高野槇を配付し神社佛閣の境内に記念植樹を行はしめる等迄でない大がかりな宣傳を行ふ豫定である

女青幹部

記念事業協議

平女子青年團では來る三月六日午後一時より第二小學校に於て幹事會を開き皇太子殿下御降誕記念事業其他今後の事業に就いて協議すると

栗の苗木

玉川で各戸に

玉川村では皇太子殿下御誕

卓球個人

選手権大會

申込み百名突破か

既報來る三月四日午前九時より平第三小學校講堂に於いて平卓球協會主催大塚運具店後援の第一回關東北卓球個人選手権大會の出場申込みは遠く仙臺、福島、郡山、水戸、日立方面より多數あり目下六十餘名に達

來年度巨救事業の

申込みで轉手古舞

土木監督所が晝夜兼行

平土木監督所では九年度各町村の巨救事業申請を明廿八日迄に受け付けるが現在迄に申請し來つたのは平町の六萬圓を筆頭に十七ヶ町村工費約三四十萬に及んで居るが締切後も各町村よりの申請殺到を見込み監督所は晝夜兼行で整理中

優良馬飼育法

川前村産馬畜産組合では來月二

日同村小學校で優良馬飼育法に就いての講習會を開くため目下準備中

學校行事打合せ

平町各小學校長打合せ會は本日

午後一時より第一小學校會議室に於て開き來月の行事に就いて種々協議した

良馬産出

農林省表彰

石城畜産馬組合員上遠野村上遠野幾七、澤渡村佐川保名の兩氏は多年優良馬の産出に盡力した功に依り近く農林省畜産局より獎勵金を下附される旨指令があつたと

税務出張員異動

二十五日縣下各税務出張所の中堅吏員の大異動を行つたが内々税務出張所關係左の如く

本縣書記平出張所員 大藤 智
命白河税務出張所勤務 同白河出張所員 小林 謙三
命平出張所勤務 小林 謙三

今夜は

鳥小屋祭り

舊正月十四日今夜は例年の如く鳥小屋祭りである、炭俵をかこまれた小屋に燈明御神酒を捧げて祝ふ鳥小屋も近年になつては段々と寂

草野農事意見

草野村農事實行組合では來月二日午後六時より組合長方で協議會を開き農具改良に就いて意見發表を行ふと

平町人事

出生

△手摺一四 晴山留之助 氏二女キエ子
△舊城跡廿 猪狩忠三藤氏 三男光司
△六間門一五三 村直次氏 長女好江

婚姻

△播植小路四 當時東京市 淀橋區戸塚町一〇五六堤 四郎氏長男充弘
△新川町二八 當時仙臺市 袋町一二鈴木愛子長男昭 和

回婚

△播植小路二五 錦織熊次 (四五)柳町二五井上しん (四二)

回死

△應匠町四 高橋トミ(七七) 三
△新川町二八 當時仙臺市 袋町鈴木昭和(一ツ)

木村科醫院

平町五丁目橋際 電話九〇五番

全勝日活超大作豪壯篇
大河内傳次郎主演



東京日日新聞・新報・新報・新報
原不林 伊藤大輔 監督

丹下左膳

第一篇 全十三巻

舊正月十五日ヨリ 八日間

毎日晝夜二回 晝午前十一時ヨリ 夜午後六時ヨリ

平館

掛持出張上映 舊正月 十五日ヨリ 磐城座 十六日ヨリ 海盛座 十八日ヨリ 綴劇座 二十日ヨリ 豊盛座

店員募集(二、三名)

十五 六才より十八才迄希望者は至急御來談あれ

小力子式極東蒸器製造元

小鍛冶兄弟商會

主 小鍛冶 永助 福島縣小町三丁目二二 電話 三三三番

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

喜多流 謠曲 仕舞 白土會 平田町六九 電話一二七番

◇詳細は本會へ御問合せ下さい。

死の苦闘も 今は空しく 哀れ屍体を發掘

残り二名も附近に?

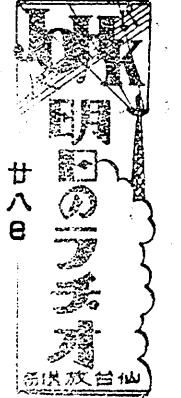
長さ百六十米、幅二十尺の稀有の大落盤に五名が生埋めとなつた磐城炭礦高坂第二斜坑の悲惨事は會社側の必死の救出作業にもかかわらず四時間後に救出された山川淺吉君と二十四日午後七時救出された内出血のため死亡した佐竹廣次君の二名を除く他の三名は絶望視されるに至つたが昨夜七時に増山謙吉君が死との苦闘も空しく哀れ屍体となつて發掘された會社では残り二名も附近に在るとの見込みで發掘作業を續けてゐる

賑々しく けふ學藝會

出演兒童上出來
既報平第一小學校第三學年以下の學藝會は本日午前九時より同校講堂に於いて篠山校長の挨拶に次いで君ケ代を合唱し直ちに演技に移りお話、唱歌、對話劇等盛澤山なプログラムに父兄母姉を喜ばし午前十一時半聲高らかに校歌を合唱閉會したが各學年兒童の演じたプログラム左の如くである
(きつねをだました話)二

明日の 演技順序

尚明日は午前九時より左の如き順序に依り第四學年以上の學藝會を催すと
(開會の辭)四年三井眞一(齋唱雪合戦)四ノ三龜山正邦外二十五名(お話名犬ハナ)五ノ一菅本進(實演)田子作とゴン吉、六ノ二柴田讓 富田正一(お話讀書)高二ノ二鈴木繁雄(齋唱水滑)五ノ二千葉直彦外二十九名(唱歌とお話劇)六ノ三袖山勝伯外十四名(席畫、席畫たるま送雪梅花笑)高一ノ一鷲甚一 眞田邦信(朗讀)太郎やあい、四ノ二渡邊弘道(同マリーのさてん)同正木秀夫(同大岡さばき)同吉江一行(實演スキー場小景)五ノ一篠山達兒外十六名(お話電氣の世の中)六ノ一關内弘吉(理科實驗色の變化)高一ノ二吉田喜道外五名(齋唱大海原)高二ノ一松崎康利外三十名(同海外發展)一ノ一大越元吉外二十九名(實演かうもり)五ノ四高階丈三外八名(お話ライオンと野兎)六ノ一小坂隆道(席畫漫畫)高二ノ一正木定雄(實演思ひ出)六ノ二相川信夫外二十名(席畫漫畫)五ノ一鳥本啓三(齋唱)太郎やあい、強い兵隊)四ノ一齊藤清次外三十名(劍舞辭世)六ノ三關原定之外五名(獨唱星の世界)五ノ二安藤破魔夫(お話ク



「猫と鼠」あり

山田小學校二年生塚田ハナ(カ)ちゃんに去る二十日同校門前で 財布を拾つて何気なく中を開けてみると五圓札一枚と五十錢、十錢と混ぜ合計八圓在中してゐた、ハナちゃんとしては生れて始めて手にした八圓といふ大金?に今更空恐ろしくなり

今夜の部

後六、〇〇 子供の時間
漫畫物語、火の番小屋、漫畫劇場
後六、二五 言葉の講座
後十三講 神保格
後七三〇 講演一北十島

此處に「猫と鼠」あり

幼い娘の拾得物を騙して横領

前人氣よく 公演二日間

聚樂館の人心劇

陸軍自動車通過に 郡下沿道が大改修

誘拐娘の 搜索願出

江名自動唧筒 消防組では現在自動車ポンプの設置なく

裁判所たより

「異常實驗室」河合明

大勢
後九、三〇 時報 ニュー
ス 氣象通報 番組預告
明日の部
前七、〇〇 基礎英語講座
(二十三)岡倉由二郎
前九、二〇 料理献立「牛肉のバター焼」
前〇、三五 家庭講座
「お雛様のお膳部いろい
ろ」中曾根梅子
後〇、〇五 満州より
後二、〇〇 家庭大學講座

「植物の常識」六久内清孝

後六、〇〇 子供の時間
管絃樂、獨唱古筆愛子
東京ラヂオオーケストラ
指揮篠原正雄
後六、二五 基礎佛語講座
十三 日黒三郎
後七、三〇 講演
後八、〇〇 三陸震災追憶
の夕
管絃樂二、挨拶 宮
城縣知事赤木朝治三、座
談會 四、管絃樂 仙臺管
絃樂團

平野業紹介所報告

回人を求める方
△女中 二十三 十五才尋卒
△女中 二十才以上 尋卒
給料面談
△鮮魚取扱 二十 三十才尋卒
△職を求め方
△土工夫 三十八才 尋卒
外面談
△トラック助手 二十三才尋卒
給面談
△商店員 二十才 高卒
給料面談
△デパート店員 十六才
高卒 外面談

誘拐娘の搜索願出

茨城縣稻敷郡龍ヶ崎町上町カフエー松月方女給關根フミ(ニ)は去る廿日同カフエーコック水戸生れ小林清一(三)の爲めに言葉巧みに誘拐され行衛不明となつたので女の父親五郎から本日本署に捜査願ひを出して来た

陸軍自動車通過に郡下沿道が大改修

昨報來月十七日平町を通過する陸軍自動車隊の貨物乗用サイドカー等五十餘臺の中には重量六噸と云ふ巨大な重砲車が十六臺參加して居るとの通牒に平土木監督

誘拐娘の搜索願出

誘拐娘の搜索願出

裁判所たより

△既報火防組合長の放火事

陸軍自動車通過に郡下沿道が大改修

昨報來月十七日平町を通過する陸軍自動車隊の貨物乗用サイドカー等五十餘臺の中には重量六噸と云ふ巨大な重砲車が十六臺參加して居るとの通牒に平土木監督

銘劍秘又録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第百六十七回 徳川家に崇る村正

不圖擱んだ手掛り

重「どなたがお出でになつたやうでございますね」

女「一寸眉を寄せ困つてしまつたといふ様な様子をして下さる人なの」

重「私の爲あなたが御迷惑をなさりやしませんか」

女「ナニニ大丈夫心配をしないでも宜しうございますよ」

重「そこへツカノ〜と入つて来た二人連れ、男、ジロリ座敷の様子を見て、苦虫を噛み潰したやうな顔をしたが

○「何だ客人か」

女「オヤ旦那よくおらつしやいました客人はどなた」

○「ウム拙者の友人だが、その客は何だ」

女「ア、このお方は何でもなすの」

○「ナニ何でもない、はて訝しな話だな、何でもない者を引入れて酒の馳走をするとは不届ではないか」

女「不届の怪しからんといふ程のことぢやないんですよ、一人で退屈だから私が一杯飲つてゐると、あつ俄雨でせう、雨具のない

はいえ、女ばかりの處へ入り込み酒を飲むとは以ての外だどんな間違ひが出来ん限りもない、これを縁に又當家へ足踏みなど致すと許さんぞ」

重「ハイ何とも申譯がございませぬ」

重太郎町寧に頭を下げながら上目に先方の様子を見ると吃驚した、豫ねて自分が土蔵破りと目星をつけて毎日探して歩いてゐる五人組の武士の中の二人だ、一人なら又世間にはいくらも似た者があるから見違ひといふ事もあるから二人揃つて似た者に出逢ふといふ氣

からこのお方が困つてお出でなすつたから家へ入れて上げて丁度飲んでゐた處だから一ツ二ツお盆を上げたまでとすよ」

○「イヤ貴様とすればやりそうなことだから、深く答へめは致さんが以來は決して



左様な事をしてはならん、殊に色の生ツ白い好かん野郎だ、コレ町人」

重「ハイ」

○「貴様は圖々しい奴だな」

重「ハイ」

支はない、これはとんだ好い手掛りが出来たとよろこんだが、素知らぬ顔で重「誠に何とも申譯もございませぬ、以來は決してお邪魔に出る様な事はございませぬから、どうぞ御勘辨願ひます」

スルと後に立つてゐた連れの武士が

○「コレ貴様は仕合せな奴だぞ、高木氏が情け深いから深くもお咎めに相成らんが、氣短の拙者などなら一

刀の錆にしてしまふのだ」

それを聞くと彼の女が

女「モシお客さま、あなた

は旦那のお友達だと言ふけれど随分餘計な口を聞くお方ですわね、一ツあの女に

仰言るが、それぢや私とこの方が何か變なことでござい

てゐたと思召すですか」

○「イヤさういふ譯ではないがとにかく女ばかりの處へ圖々しく入り込んで酒を呑むなどは不埒千萬、サツサト出して失せろグツグツ致すと擱み出すぞ」

重「申譯がございませぬ、

ご新造さん、色々お世話様になりて有難う存じます、

本来改めて御禮に出るべきでございませぬが、只今旦那様から以來足踏みをしては

ならぬとの仰言り付けてございませぬからお伺ひするこ

とは御遠慮いたします」

女「どうも却つてお氣の毒でしたわね、ナニニ構ひやしませんよ、旦那が何と云つ

たとて宜い方なんだからそれに私達が身に後暗いこと

があるならばともかく只一緒に酒を呑んだといふ位で

ちつとも恐れるには及びませぬ、又此方の方へお出で

なすつたらお寄りなさい」

重「ハイ、有難う存じます」

重太郎コンノ〜と表へ出

たが、ハテ變だぞ只の旦那

と妾の間なら旦那の言ふとは仰せせ尤もと聞いてゐなければならぬのに、まるで盾突く様な今の言葉よく、旦那があの女に巻かれてゐるのか、それともあの妾に弱く尻でも握られてゐるのか、足踏みするなど言はれたが、ナニニ恐れることはない、一ツあの女に取り入つて男の秘密を探り出してやらうか、いや、私には少し不向きな役だ、これは入谷の鐵五郎に頼んで、あの武士の素性を洗ふのが一番好からうと、それから鈴木重太郎、入谷の鐵五郎の家を指して行く。

印刷物の御用命
總ては命御
印刷日毎警常
株式會社
番〇三六話電

新學年の御用意
小學用 ランドセル (十三種)
中學用
女學用 手提カバン (十三種)
一般用
マルモト柴田書店
電話 二三四番
三五九番

玉屋洋品店
平町四丁目電話六五六番
御融通には！
是非御利用を……
萬事便利な御相談に應じます。
三井質店
平四・電六〇六番

理想の治淋薬出現す
一般賣藥、熱療器類に不満を感じた患後の良藥として本藥を紹介いたします。
●本藥は有り觸れた白檀油系統の平凡藥でなく、独自の注射原藥を主劑とし外に洋藥及漢藥數種の特効成分と利尿藥が配合され特に胃腸腎臟障害等の副作用を絶無ならしめた安全藥で又錠劑で有ります。
強力殺菌内服注射原藥配合
ザロス
消渴 淋病
試用分 ¥2.00
用症分 ¥3.00
輕症用 ¥5.00
重症用
特約店 阿部藥舖
平町四丁目(松月堂向イ)
發賣元不二藥品商會